



謹賀新年

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈り申し上げます。

さて、会員の皆様におかれましてはご家族揃って初春をお迎えになられたことと存じます。

昨年は、3月11日に起こりました東日本大震災並びに原発事故の国難に始まり、トルコ地震（5月、10月）、奈良県、和歌山県の台風による大雨被害、ギリシャ、イタリア等ヨーロッパ諸国の経済危機、タイの水害等々、本当に心休まる間がない位次から次へと全世界的規模の危機が起こりました。今年の世界は穏やかな状況で推移して欲しいものと思います。とはいえ、東日本被災地区の苦難はこれから先も続くと思われまますので、皆様方のご支援をいただきながら災害支援プロジェクト事業を粛々と進めて参る所存ですのでご協力の程お願い申し上げます。

昨年の地区活動におきましては、11月11日、12日の両日に実施されました地区大会には大勢の会員の皆様のご出席を賜りました。さらに11月にはモーニングクラブ「大阪アーバンロータリークラブ」のR Iへの申請も終わりました、12月8日に創立総会を実施出来ました。

今年度はあと残すところ6ヶ月を切りますが、本年も地区活動にご協力をお願いいたします。

さて、今月はロータリー理解推進月間（Rotary Awareness Month）です。ロータリアン全員にロータリーについての知識と理解を一層深めていただき、同時にロータリアン以外の一般市民にもロータリーのことをよく知っていただくためのプログラム等を実施する月間となっています。

今年のR Iの長期計画の中に「公共イメージと認知度の向上」が取り上げられており、イメージとブランド認知を調和させる、職業奉仕を強調するとなっています。そして、地区の方針におきましても、私は公共イメージと認知度の向上を謳い、ロータリーの認知度の向上をあげさせていただきました。

今まではどちらかというとロータリーの活動は認知度の向上よりも静かに活動をしていればその内社会に知れ渡るといった考え方が大半であったかと思えます。しかしながら、昨今のようなIT革命の最中、私達が十分ロータリー活動についての理解を深めることを通じて、そのことを社会に対して発信していくことも必要であると考えています。

私の年度のR I会長は、本年度でエンドポリオを謳っておりまして、当地区も昨年2月にインドヘポリオワクチンの投与のために大谷P Gがお出かけ下さいました。その時の映像をテレビ大阪と共同でテレビ放送をし、全国のロータリアンにも広く知らしめることが出来ました。

新世代奉仕活動におきましても、ロータリアンと若い世代の方々との交流を通じてロータリーの広報に努めているところです。

また、クラブ奉仕、社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕活動におきましても若い世代の人達の模範となるようなロータリアンの行動が求められており、そのことがロータリーの認知度の向上に役立つものがあります。私達は常日頃の行動を通してロータリアンとしてのマナーと誇りとを広く社会に知らしめることにより、ロータリーの認知度の向上に結びつけようではありませんか…。

合 掌